

外部評価シート【事務事業評価編】における評価基準

外部評価の考え方

市が実施した事務事業に対する評価が適切に行われているかを評価します。
(事業自体を評価するものではありません。)

①必要性、②目標達成度、③実施内容・方法、④公平性の各項目の評価、⑥総合評価に対する評価
各評価項目の市が実施した評価が適切であるか評価します。






評価項目	評価の視点	点数	評価基準
①必要性 (市が関与する必要性)	<ul style="list-style-type: none"> 市民からの要望を的確に捉え評価しているか。 社会情勢の変化を的確に捉え評価しているか。 利用者や対象者の減少などを的確に捉え評価しているか。 市が事業を廃止・休止した場合の市民に与える影響を的確に捉え評価しているか。 市民の生活水準の維持・向上への寄与を的確に捉え評価しているか。 	5点	最適な評価
②目標達成度 (令和2年度の目標達成度)	<ul style="list-style-type: none"> 目的(目標)を的確に捉え評価しているか。 事業成果・効果を的確に判断し評価しているか。 市民満足度を的確に捉え評価しているか。 適切な指標を設定し、指標の達成度を的確に捉え評価しているか。 	4点	適切な評価
③実施内容・方法 (成果向上・コスト削減のための見直しの余地)	<ul style="list-style-type: none"> 効率化の余地を的確に捉え評価しているか。 費用対効果を的確に捉え評価しているか。 事業の担い手や進め方等の見直しの余地を的確に捉え評価しているか。 進行状況を的確に捉え評価しているか。 	3点	概ね適切な評価
④公平性 (受益者負担の見直しの余地)	<ul style="list-style-type: none"> 利用者(受益者)の偏りを的確に捉え評価しているか。 受益者負担の公平性を的確に捉え評価しているか。 	2点	やや適切でない評価
		1点	適切でない評価

評価項目	評価の視点	点数	評価基準
⑥総合評価 (最終目標に対する進捗状況)	<ul style="list-style-type: none"> 「事業目的」、「事業の実施状況(見込み)」、「活動指標・成果指標」、「計画期間を通じたの課題と対応策」を踏まえ、最終目標の達成に向けた進捗状況が適切に評価されているか。 	5点	最適な評価
		4点	適切な評価
		3点	概ね適切な評価
		2点	やや適切でない評価
		1点	適切でない評価

⑤今後の方向性

指標や必要性等の評価を考慮し、令和2年度と比較して、

令和3年度以降の事業の方向性を評価します。

評価項目	評価基準
⑤今後の方向性	重点化  拡大して実施
	現状維持  同規模で実施
	縮小  縮小して実施
	休止・廃止  事業の中止
	その他  それ以外

評 価 例

例 1

〇〇事業

①必要性の評価

	A：非常に高い	B：高い	C：ある程度認められる
市の評価			○
委員の評価			○

〇〇事業の必要性について、市は「C：ある程度認められる」と評価し、委員も「C：ある程度認められる」と評価した。

⇒市が実施した評価は、「最適な評価」であるため5点

<イメージ>



例2

〇〇事業

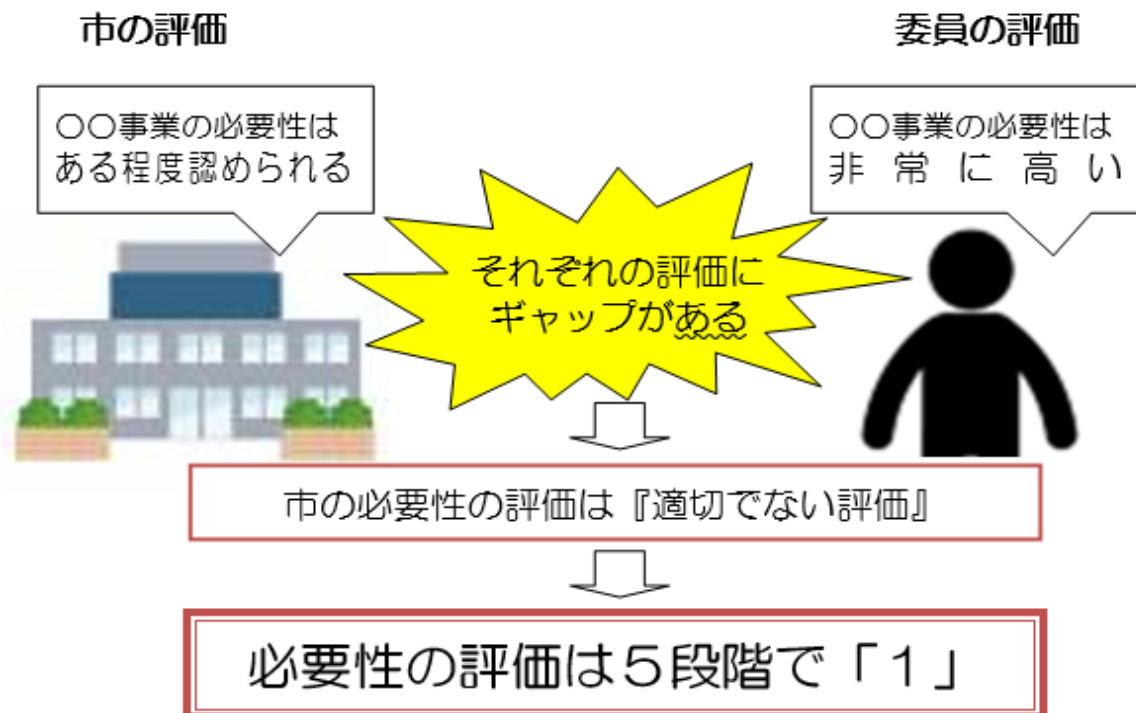
①必要性の評価

	A：非常に高い	B：高い	C：ある程度認められる
市の評価			○
委員の評価	○		

〇〇事業の必要性について、市は「C：ある程度認められる」と評価し、委員も「A：非常に高い」と評価した。

⇒市が実施した評価は、「適切でない評価」であるため1点

<イメージ>



令和〇〇年度外部評価シート

評価委員名 (八潮 一郎)

記入例

事業名	〇〇〇事業		
担当部名	△△部	担当課	□□課

◆【委員の評価】の考え方
各評価項目に対する評価を記載
◆評価の考え方
「市の評価」と「委員の評価」を比較し、右欄の「各項目の評価」をするため、先に「委員の評価」を記載していただき、その結果から「各項目の評価」を行います。

評価項目	評価項目の説明	市の評価	委員の評価	各項目の評価
① 必要性	市民ニーズ	A		①必要性 高 ← 5 4 3 2 1 → 低
	安全・安心			
	生活の安定			
	その他			
② 目標達成度	目標の達成度	B		②目標達成度 高 ← 5 4 3 2 1 → 低
	活動指標・評価指標			
	成果の向上性			
	その他			
③ 実施方法内容	費用対効果	余地がある		③実施内容・方法 高 ← 5 4 3 2 1 → 低
	実施主体			
	手段			
	その他			
④ 公平性	サービスの優位性	i. 偏りがある ii. 余地がある		④公平性 高 ← 5 4 3 2 1 → 低
	サービスの対象者			
	受益者負担			
	その他			

評価の理由 (評価を行った際の理由についてご記入ください)
① 必要性 ◆【①必要性】の考え方 評価対象事業の目的が、現在や将来の市民ニーズを捉えているか、市民生活の維持に貢献しているか等 ◆評価の考え方 外部評価委員会では、事務事業評価における「必要性」の評価が適切な場合は、高いとなり、「必要性」の評価が適切でない場合は、低いと評価します。
② 目標達成度 ◆【②目標達成度】の考え方 評価対象事業の目的と活動指標や成果指標の設定が適切か、計画・目標を達成しているか等 ◆評価の考え方 外部評価委員会では、事務事業評価における「目標達成度」の評価が適切な場合は、高いとなり、「目標達成度」の評価が適切でない場合は、低いと評価します。
③ 実施方法内容 ◆【③実施内容・方法】の考え方 評価対象事業の目的を実現するための手段や方法が適切か、費用対効果が大きいかなど ◆評価の考え方 外部評価委員会では、事務事業評価における「実施内容・方法」の評価が適切な場合は、高いとなり、「実施内容・方法」の評価が適切でない場合は、低いと評価します。
④ 公平性 ◆【④公平性】の考え方 評価対象事業の意義・目的や対象者から、受益者負担を見直す余地があるかどうか ◆評価の考え方 外部評価委員会では、事務事業評価における「公平性」の評価が適切な場合は、高いとなり、「公平性」の評価が適切でない場合は、低いと評価します。

今後の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> : 現状維持 <input type="checkbox"/> : 縮小 <input type="checkbox"/> : 休止・廃止 <input type="checkbox"/> : その他				
---	--	--	--	--

⑥ 総合評価				
(評価の理由)	市の評価	委員の評価	⑥総合評価	
			高	低
【⑤今後の方向性】の考え方 指標や必要性等の評価を考慮し、令和2年度と比較して、令和3年度以降の事業の方向性を評価してください。				
重点化(拡充) : 拡大して実施 現状維持 : 同規模で実施 縮小 : 縮小して実施 休止・廃止 : 事業の中止 その他 : それ以外				

事業に関するご意見・ご提案等 【⑥総合評価】の考え方 「事業目的」や「計画期間を通じての課題と対応策」等を踏まえた最終目標に対する進捗状況 ◆評価の考え方 「事業目的」、「事業の実施状況(見込み)」、「活動指標・成果指標」、「計画期間を通じての課題と対応策」を踏まえ、最終目標の達成に向けた進捗状況が適切に評価されているか。
--